

定 款

社会福祉法人 水の会

(平成28年5月申請)

社会福祉法人水の会定款

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 軽費老人ホーム（A型）の経営
- (ロ) 特別養護老人ホームの経営
- (ハ) 養護老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 保育所の経営
- (ロ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (ハ) 一時預かり事業の経営
- (ニ) 老人デイサービス事業の経営

(名 称)

第2条 この法人は社会福祉法人水の会という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を北海道札幌市中央区南3条西1丁目1番1号に置く。

第2章 役員及び職員

(役員の数)

第5条 この法人には次の役員を置く。

- (1) 理事 7名
- (2) 監事 2名

2 理事のうち1名は、理事の互選により、理事長となる。

3 理事長はこの法人を代表する。

4 役員を選任にあたっては、各役員について、その親族その他特殊の関係がある者が、理事のうち1名を超えて含まれてはならず、監事のうちにこれらの者が含まれてはならない。

(常務理事)

第6条 理事のうち1名を常務理事とする。

2 常務理事は、理事会の同意を得て、理事長が指名する。

3 常務理事は、理事長の命を受けて、この法人の業務を処理する。

(役員任期)

第7条 役員任期は二年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は再任されることができる。

- 3 理事長の任期は、理事として在任する期間とする。

(役員を選任等)

第8条 理事は、評議員会において選任し、理事長が委嘱する。

- 2 監事は、評議員会において選任する。
- 3 監事は、この法人の理事、評議員、職員及びこれらに類する他の職務を兼任することができない。

(役員報酬等)

第9条 役員報酬については、勤務実態に即して支給することとし、役員の地位にあることのみによっては、支給しない。

- 2 役員には費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(理事会)

第10条 この法人の業務の決定は、理事をもって組織する理事会によって行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- 2 理事会は、理事長がこれを招集する。
- 3 理事長は、理事総数の三分の一以上の理事又は監事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から一週間以内にこれを招集しなければならない。
- 4 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。
- 5 理事会は理事総数の三分の二以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
- 6 前項の場合において、あらかじめ書面をもって、欠席の理由及び理事会に付議される事項についての意思を表示した者は、出席者とみなす。

- 7 理事会の議事は、法令に特別の定めがある場合及びこの定款に別段の定めがある場合を除き、理事総数の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 8 理事会の決議について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。
- 9 議長及び理事会において選任した理事二名は、理事会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。

(理事長の職務の代理)

- 第11条 理事長に事故あるとき、又は欠けたときは、理事長があらかじめ指名する他の理事が、順次に理事長の職務を代理する。
- 2 理事長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項については、理事会において選任する他の理事が理事長の職務を代理する。

(監事による監査)

- 第12条 監事は、理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況を監査しなければならない。
- 2 監事は、毎年定期的に監査報告書を作成し、理事会、評議員会及び北海道知事に報告するものとする。
 - 3 監事は、前項に定めるほか、必要があると認めるときは、理事会、評議員会に出席して意見を述べるものとする。

(職員)

- 第13条 この法人に、職員若干名を置く。
- 2 この法人の設置経営する施設の長（以下「施設長」という。）は、理事会の議決を経て、理事長が任免する。
 - 3 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

第3章 評議員及び評議員会

(評議員会)

第14条 評議員会は、十五名の評議員をもって組織する。

- 2 評議員会は、理事長が招集する。
- 3 理事長は、評議員総数の三分の一以上の評議員又は監事から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から二〇日以内に、これを招集しなければならない。
- 4 評議員会に議長を置く。
- 5 議長は、その都度評議員の互選で定める。
- 6 評議員会は、評議員数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
- 7 評議員会の議事は、評議員総数の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 8 評議員会の決議について、特別の利害関係を有する評議員は、その議事の議決に加わることができない。
- 9 議長及び評議員会において選任した評議員二名は、評議員会に議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。
- 10 評議員の報酬については、勤務実態に即して支給することとし、評議員の地位にあることのみによっては、支給しない。

(評議員会の権限)

第15条 評議員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 予算、決算、基本財産の処分、事業計画及び事業報告
- (2) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (3) 定款の変更
- (4) 合併
- (5) 解散（合併又は破産による解散を除く。以下この条において同じ。）
- (6) 解散した場合における残余財産の帰属者の選定。
- (7) その他、この法人の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認める事項

- 2 理事会は、前項に掲げる事項を決定しようとするときは、原則として、あらかじめ評議員会の意見を聴かなければならない。

(同 前)

第16条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ若しくはその諮問に答え又は役員から報告を徴することができる。

(評議員の資格等)

第17条 評議員は、社会福祉事業に関心を持ち、又は学識経験ある者で、この法人の趣旨に賛成して協力する者の中から理事会の同意を経て、理事長がこれを委嘱する。

2 評議員の委嘱に当たっては、各評議員について、その親族その他特殊の関係がある者が3名を超えて含まれてはならない。

(評議員の任期)

第18条 評議員の任期は二年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 評議員は、再任されることができる。

第4章 資産及び会計

(資産の区分)

第19条 この法人の資産は、これを分けて基本財産と運用財産及び収益事業用財産の3種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 北海道北広島市大曲370番地8所在の鉄骨造陸屋根2階建

大曲いちい保育園 園舎 1棟 (789.44平方メートル)

(2) 北海道夕張郡栗山町中央3丁目309番地4、309番地5所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建

栗山いちい保育園 園舎 1棟 (891.85平方メートル)

- (3) 北海道空知郡南幌町中央2丁目182番地47所在の鉄骨造陸屋根2階建
南幌いちい保育園 園舎 1棟 (1,318.44平方メートル)
- (4) 北海道夕張郡由仁町馬追215番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
軽費老人ホーム緑豊苑 苑舎 1棟 (1,706.96平方メートル)
- (5) 北海道夕張郡由仁町馬追215番地所在の軽費老人ホーム 敷地
(11,714.58平方メートル)
- (6) 北海道夕張郡栗山町角田284番地5所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
老人ホーム泉徳苑 苑舎1棟 (3046.69平方メートル)
- 附属建物
鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
養護所デイサービスセンターくりやま (391.87平方メートル)
- 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建 車庫 (138.96平方メートル)
- (7) 北海道夕張郡由仁町東栄460番地、86番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根
3階建
特別養護老人ホームユンニこもれびの家 苑舎1棟
(3,399.45平方メートル)
- (8) 北海道札幌市東区北21条東23丁目3番地2、3番地1所在の開成いち
い保育園敷地
(1,261平方メートル)
- (9) 北海道札幌市東区北21条東23丁目3番地2、3番地1所在の鉄筋コン
クリート造地上2階建開成いちい保育園園舎1棟 (809.50平方メートル)
- (10) 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町777番地14所在の軽量鉄骨造スレート
ぶき平家建
名瀬いちい保育園園舎 1棟 (312.48平方メートル)
- 附属建物
鉄筋コンクリート造ビニール板ぶき平家建
物置 (2.16平方メートル)
- コンクリートブロック造スレートぶき平家建
物置 (2.49平方メートル)

- (1 1) 神奈川県横浜市金沢区六浦三丁目 3630 番地 24、3616 番地 249、3630 番地 142、3632 番地 25 所在の軽量鉄骨造スレートぶき平家建
北六浦いちい保育園園舎 1 棟 (312.48 平方メートル)

附属建物
軽量鉄骨造スレートぶき平家建
物置 (4.20 平方メートル)

コンクリートブロック造スレートぶき平家建
物置 (2.49 平方メートル)

軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建
物置 (4.86 平方メートル)

- (1 2) 東京都足立区島根四丁目 2 6 番地 2、2 7 番地、2 8 番地 2、4 0 番地 2
所在の鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建
島根いちい保育園園舎 1 棟 (539.55 平方メートル)
- (1 3) 北海道夕張郡栗山町角田 284 番地 5 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建
老人ホーム一草庵 1 棟 (780.00 平方メートル)
- (1 4) 東京都世田谷区弦巻 5 丁目 6 2 9 番地 1 所在の鉄骨造陸屋根 2 階建
世田谷いちい保育園北ウイング・南ウイング園舎 1 棟 (1,976.53 平方メートル)

- 3 運用財産は、基本財産、収益事業財産以外の財産とする。
- 4 収益事業財産は、第 28 条に掲げる収益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第 20 条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意を得て、北海道知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、北海道知事の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人医療機構の福祉

貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資にかかる担保に限る。)

(資産の管理)

- 第21条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。
- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(特別会計)

- 第22条 この法人は、特別会計を設けることができる。

(予 算)

- 第23条 この法人の予算は、毎会計年度開始前に、理事長において編成し、理事総数の三分の二以上の同意を得なければならない。

(決 算)

- 第24条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後二月以内に理事長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得なければならない。
- 2 前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、各事務所に備え置くとともに、この法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。
 - 3 会計の決算上繰越金を生じたときは、次会計年度に繰り越すものとする。ただし、必要な場合には、その全部又は一部を基本財産に編入することができる。

(会計年度)

- 第25条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第26条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の処理)

第27条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

第5章 収益を目的とする事業

(種別)

第28条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行う。

(1) 駐車場の経営

2 前項の事業の運営に関する事業については、理事総数の三分の二以上の同意を得なければならない。

(収益の処分)

第29条 前条の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業（社会福祉法施行令（昭和33年政令第185号）第4条及び平成14年厚生労働省告示第283号に掲げるものに限る。）に充てるものとする。

第6章 解散及び合併

(解散)

第30条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第31条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、

理事総数の三分の二以上の同意によって社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

(合 併)

第32条 合併しようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意を得て、北海道知事の認可を受けなければならない。

第7章 定款の変更

(定款の変更)

第33条 この定款を変更しようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意を得て、北海道知事の認可（社会福祉法第43条第1項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。

第8章 公告方法その他

(公告の方法)

第34条 この法人の公告は、社会福祉法人水の会の掲示場に掲示するとともに、官報又は新聞に掲載して行う。

(施行細則)

第35条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

(附 則)

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の設立後遅滞なくこの定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	瀬 川	五 水
理 事	林	美智子
〃	長谷川	眞知子

”	津 田	一 枝
”	菅 谷	明
”	吉 村	幸 子
”	小 林	信 子
監 事	中 川	公
”	小 野	武 久